

新機能リリース情報

2026年6月10日

BIM/CIM対応・施設管理クラウド

BIMSTOK

2026年6月10日時点での「BIMSTOK」の新機能および改善内容をご紹介します。

本資料に掲載している画面イメージ、機能内容、リリーススケジュールはその後の開発状況等により変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

施設管理業務における情報整理・共有をより効率的に行えるよう、
ノート機能とAIアシスタント機能を中心に新機能追加および各種機能改善を実施しました

「ノート」とBIM/CIMモデルの連携機能を強化

「ノート」のピンカラー変更に対応

「ノート」説明欄で画像のサムネイル表示に対応

AIアシスタント機能の回答精度・応答速度を向上（回答速度：従来比2～3倍）

UI・UX（ユーザ体験）の改善

ドライブから作成した「ノート」を、後からBIM/CIMモデルと連携できるようになりました

Before

ドライブから作成した「ノート」は
BIM/CIMモデルとの連携できない

- BIM/CIMモデルとの紐づけを前提に運用する必要がある
- BIM/CIMモデルの整備を行ってから情報整理を進める
必要があり、運用負荷が高い



After

必要なタイミングでBIM/CIMモデルと連携可能

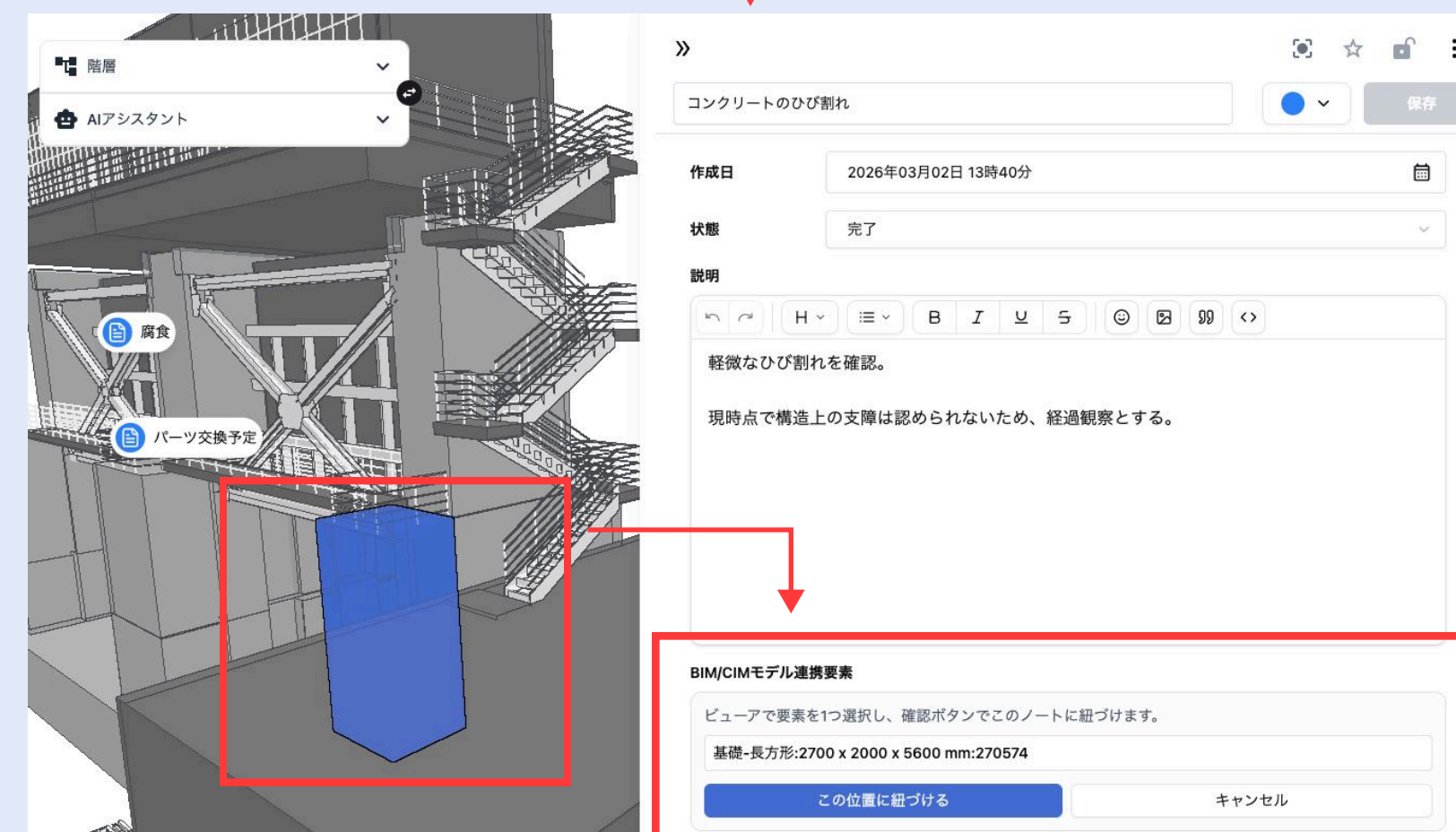
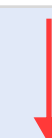
- ✓ まずは「ノート」として情報を蓄積し、
必要に応じて後からBIM/CIMモデルへ紐づけ可能
- ✓ 現場負担を抑えながら、
維持管理情報を段階的に一元化できる



対象画面

「ノート」詳細画面

「ノート」詳細画面



「ノート」のピンカラー変更に対応

「ノート」の視認性と識別性を向上するため、ピンカラーを変更できる機能を追加しました。

Before すべての「ノート」が同じ色で表示

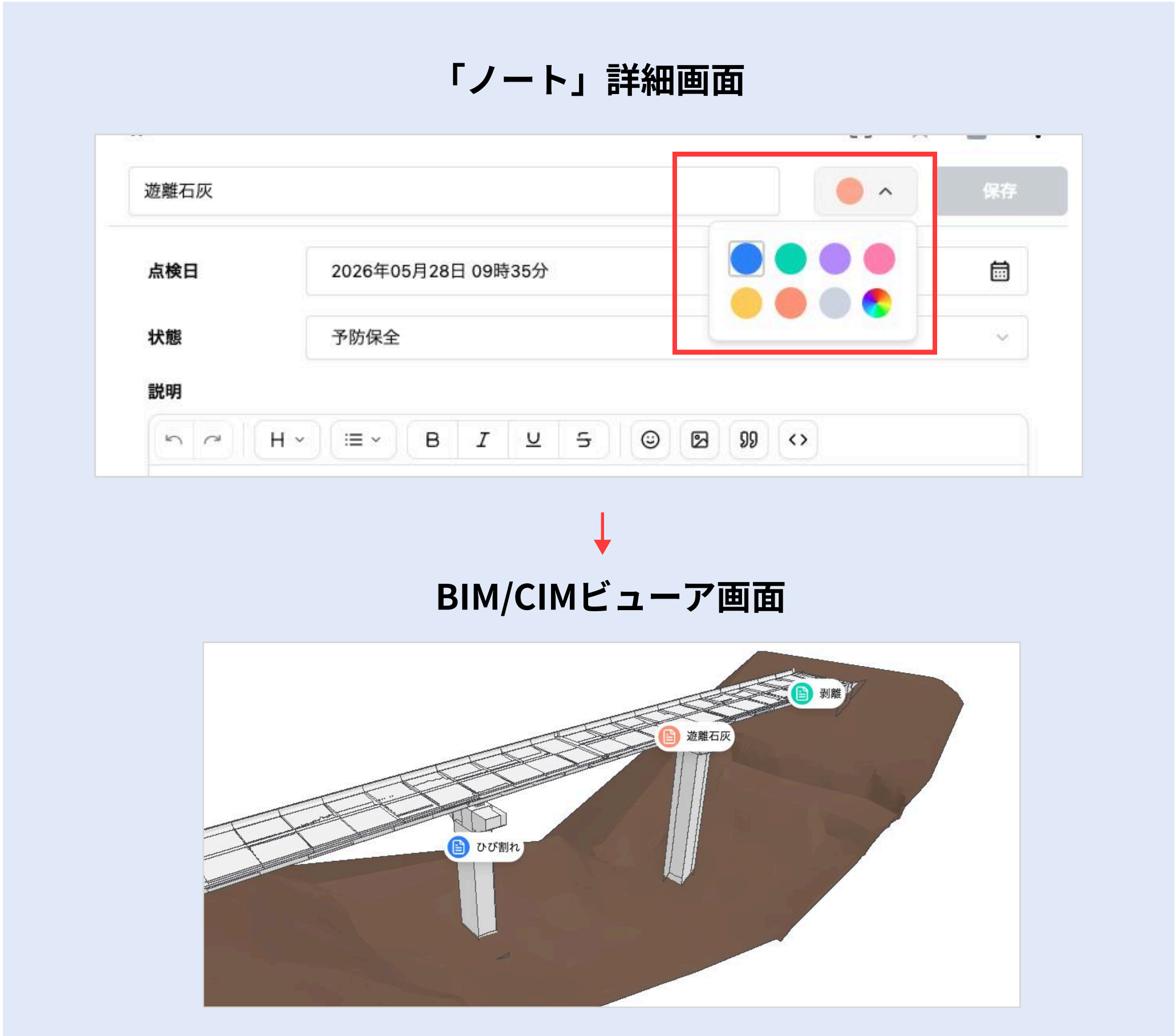
- ・「ノート」の種類や重要度を区別できない
- ・チーム内で情報整理のルールを統一しづらい
- ・「ノート」が多数表示されると、重要な情報を見落としやすい



After 「ノート」ごとにピンカラーを設定可能

- ✓ 「ノート」の種類や重要度を色で識別可能
- ✓ 視覚的に情報を整理しやすい
- ✓ チーム内での共通ルールによる運用が可能

 対象画面 | 「ノート」詳細画面、BIM/CIMビューア画面



「ノート」説明欄で画像のサムネイル表示に対応

維持管理情報をより素早く確認できるよう、 **画像のサムネイル表示**に対応しました

Before

- 画像は「添付ファイル」項目でファイル名のみ表示
- 内容確認のたびに、画像を開く必要がある



After

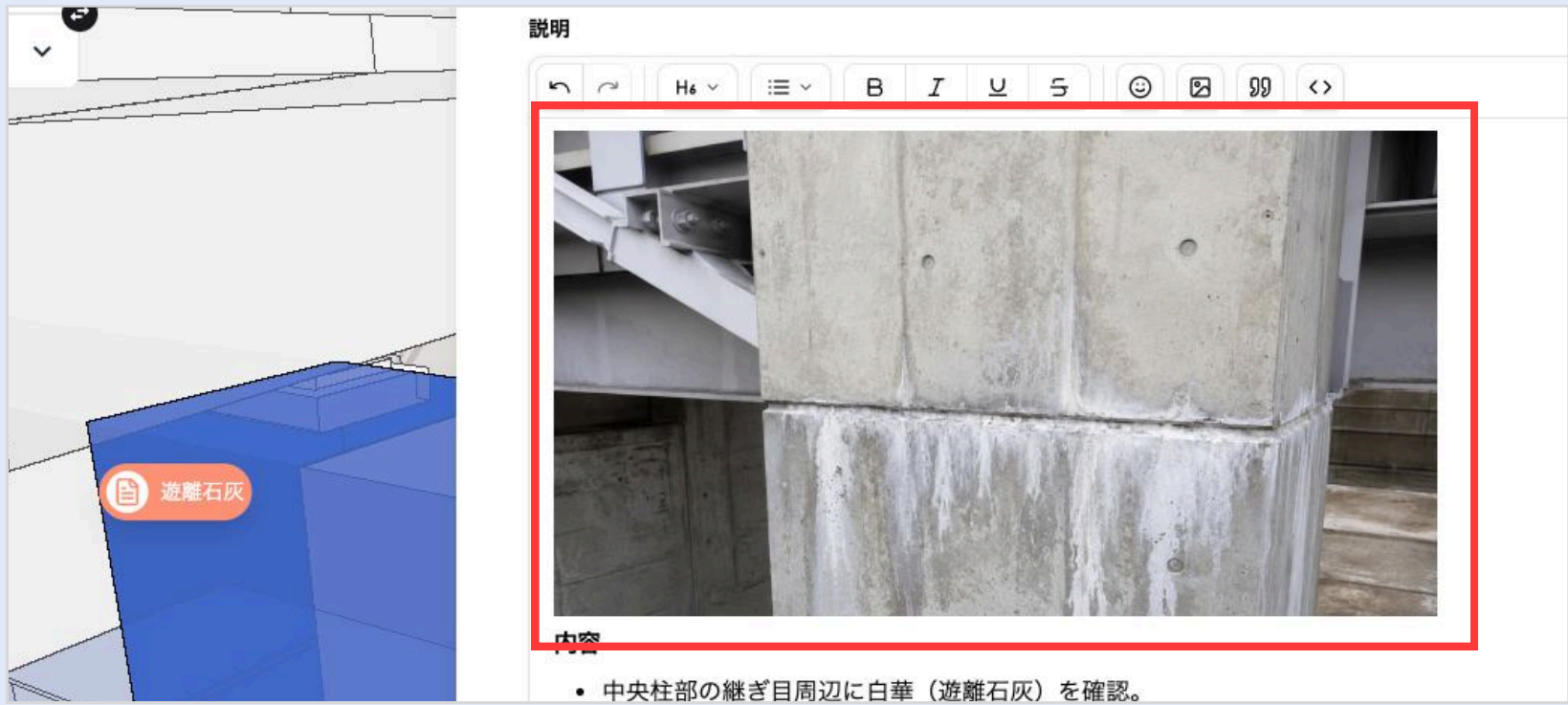
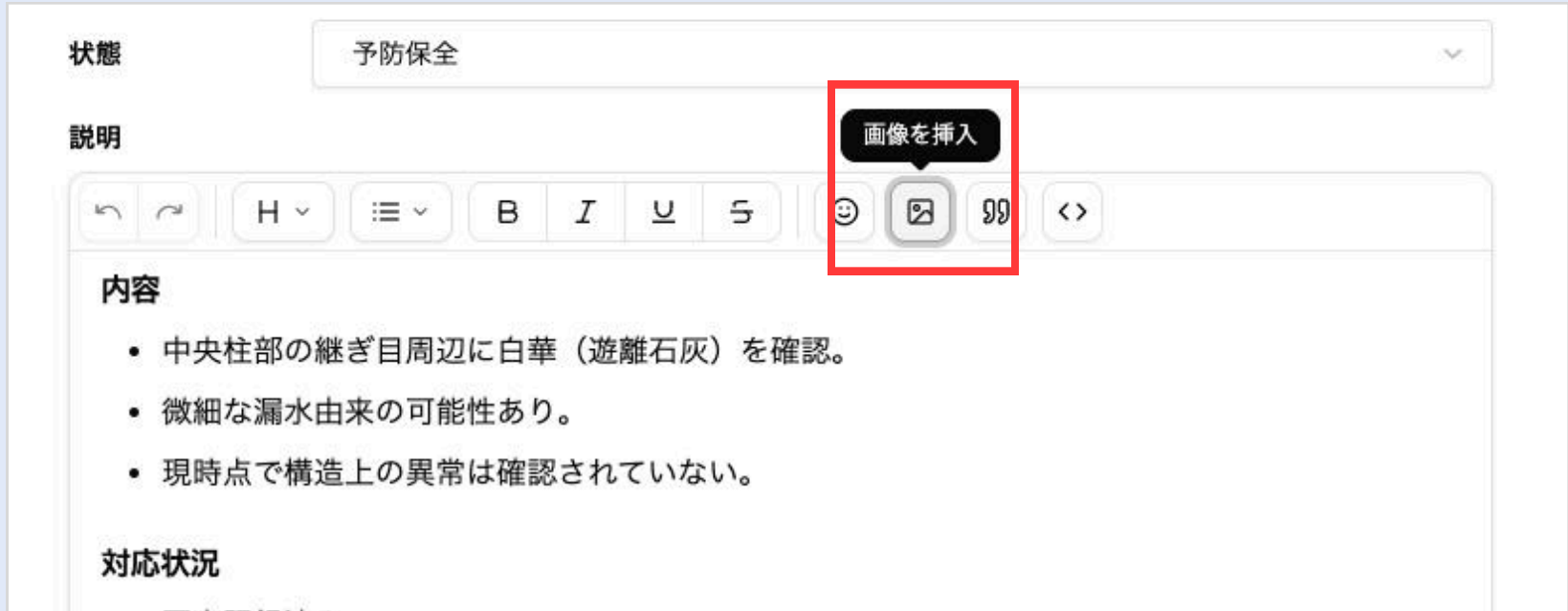
- ✓ 画像を「ノート」の説明欄にサムネイル表示
- ✓ 「ノート」を開くだけで素早く内容を確認可能

 対象画面

|

「ノート」詳細画面

「ノート」詳細画面



AIアシスタント機能を強化し、より正確かつ高速に回答を提供できるようになりました

Before

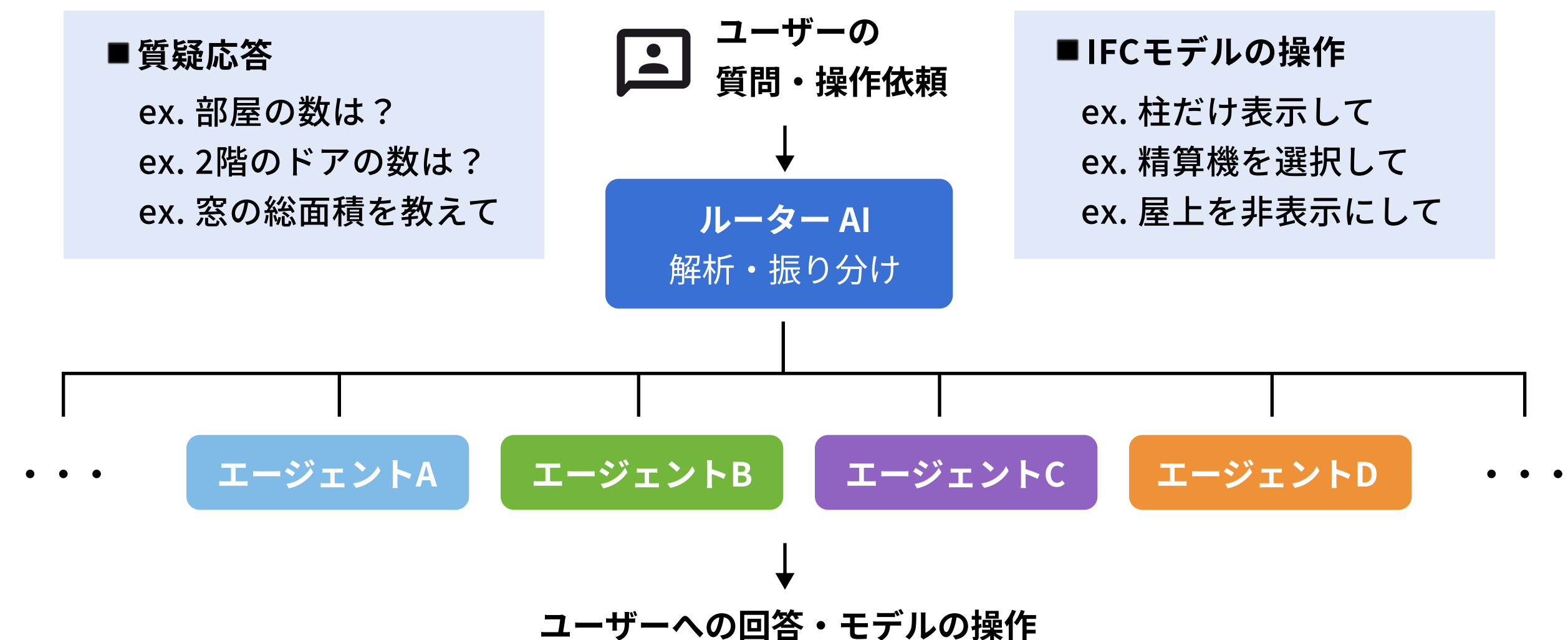
- 回答に時間がかかる場合がある
- 必要な情報が十分に得られない場合がある

After

- ✓ 回答速度が従来比2～3倍に向上
- ✓ より正確な回答を提供
- ✓ 情報確認・判断業務を効率化

対象画面 | BIM/CIMビューア画面 > AIアシスタント

複数のAIエージェントによる分散処理で、高速・高精度に回答



🕒 従来比2～3倍の応答速度

部屋数の集計、要素検索など、
従来比 2～3倍の高速応答を実現

🧠 AIが「考えて」回答

計算・比較・条件判断・
単位変換・推論を実施。
高度な質問にも対応

🔍 名称から要素を瞬時に検索・操作

名称検索により、IFCモデルの
要素を瞬時に特定。選択・非
表示・分離・数量カウントなど
を自在に実行

新機能追加に加え、 操作性や利便性を向上するための改善を実施しました

- ✓ ツアー機能を追加し、初めて利用するユーザーでも操作方法を把握しやすく改善
- ✓ セッション切れ時の挙動を改善し、ブラウザ更新を行わずにログイン画面へ遷移可能に
- ✓ IFCファイルの属性情報の取得精度を向上
- ✓ 属性情報の表示UIを改善し、情報をより見やすく整理

その他、いくつかの軽微な修正を行なっております。

BIMSTOK

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本資料はお客様に配布するものであり、株式会社アーリーリフレクションの許可なく、本資料をお客様以外の第三者に提示し、閲覧させ、また、複製、配布、譲渡することは固く禁じられております。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権は、株式会社アーリーリフレクションに帰属し、事前に株式会社アーリーリフレクションの承諾を得ることなく、本資料に修正・加工することは固く禁じられております。